

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表: 令和 6年 1月 20日

事業所名 こばんはうすくら 北本教室 保護者等数(児童数) 28 回収数 25 割合 89 %

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	16	5	1	3	教室にあまり行ったことがないため分からない部分がある。	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	18	2	0	5	教室にあまり行ったことがないため分からない部分がある。	お子様の人数に応じて、配置する職員数を決めている。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	13	1	2	9	教室にあまり行ったことがないため分からない部分がある。 車いすの児童も利用できるようにしてほしい。	現在バリアフリーには対応できていない。
適切な支援の提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	24	0	0	1		モニタリングにて保護者様のご意向を伺ったうえで、支援計画を作成している。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	25	0	0	0		同じプログラムが続かないように、配慮して作成している。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	3	6	13	そのような機会がまだないので分からない。	
保護者への説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	24	1	0	0		利用開始時に説明を行っている。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	24	1	0	0	相談がしやすい。	連絡帳でのやり取りの他に、送迎時に直接保護者様とやり取りをしている。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	23	2	0	0		半年に1回モニタリングが行われている。また、要望があった際には面談を行っている。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4	6	6	9	「進路情報交流会」は普段聞けないことを聞くことができ、勉強になった。	今後も保護者様向けの研修会などを実施していく。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	15	2	0	8		
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	25	0	0	0		
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	24	1	0	0		月に1回、保護者様向けのお便りを発行している。
非常時等の対応	14 個人情報に十分注意しているか	22	3	0	0		
	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	18	4	0	3		
満足度	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	16	1	0	8		プログラムの一環として、定期的に避難訓練を実施している。
	17 子どもは通所を楽しみにしているか	24	0	0	1	食育が今までより増えたのが良い。毎回楽しみにしている。	
	18 事業所の支援に満足しているか	24	1	0	0	子どもの成長に寄り添ってもらい、親子とも大変満足している。 宿題を丁寧にやるように徹底させてほしい。	宿題の時間は、職員が宿題の進み具合を必ず確認するように心がける。
		342	33	15	60	76%	

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 1月 20日

事業所名 こばんはうすくら 北本教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	10	0		スペースを広く使えるように、今後も工夫を続けていく。
	2 職員の配置数は適切である	10	0	お子様の人数に応じて配置する職員の人数を決めている。	今後も支援に十分な人数を確保できるようにしていく。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	8	1		
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	10	0		
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	10	0	保護者様の意向を把握し、改善できる所はすぐに行うようにしている。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8	0		
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	8	0		
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9	0	定期的に研修を実施している。	今後も様々な研修を実施し、職員の資質の向上を図っていく。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	10	0	お子様や保護者様のニーズや課題に応じた計画を作成するように心がけている。	アセスメントは定期的に行い、ニーズや課題の変化を把握したうえで計画を作成していく。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	10	0		
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	10	0	お子様が喜んでいただいていたプログラムを取り入れられるように、話し合いを行っている。	話し合いの上でのプログラムの作成を継続して行っていく。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	10	0	次月のプログラム内容を、支援計画に基づいて職員で話し合って決めている。	同じプログラムが連続または近い日程にならないよう、調整の上でプログラムの作成を行っていく。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	10	0	平日は短時間でできるプログラム、休日はじっくり取り組めるプログラムを設定している。	お子様の活動時間に応じたプログラムを設定できるようにしていく。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	10	0	個別活動が必要なお子様には、職員が1対1で行っている。	基本は集団活動だが、必要に応じて個別活動も取り入れるようにしていく。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9	0	朝礼の際に予定や支援の内容についての確認を行っている。	支援開始前の打ち合わせを今後も継続していく。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	0	出勤していない職員に対しても、情報共有を行うようにしている。	支援終了後の打ち合わせが難しい日には、引継ぎを利用した共有を行う。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9	0	支援内容やお子様の様子などは記録し、今後の支援改善に役立てるようにしている。	活動の様子を記録し、保護者様とも共有していく。
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	9	0	半年に1回、モニタリングを行っている。	今後も継続してモニタリングを行っていく。	
関係機関や保護者	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	8	0		
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	1		
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	8	0	学校と連絡をとり、行事予定や下校時刻を把握するようにしている。	今後も学校とは連携を密にしていく。
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	6	1	現在該当する児童がいない状況である。	現在該当する児童がいない状況である。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	8	0		
24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	8	0			

目との連携	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	2		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	7	1		
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	4	3		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9	0	送迎の際に保護者様と情報共有を行っている。	今後も連絡帳や送迎時の情報共有を継続していく。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	9	0		保護者様向けの研修会を実施していく。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	10	0	利用開始の際に説明を行っている。	今後も丁寧な説明を行うことを心掛ける。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	10	0	日頃から保護者様とコミュニケーションを取るよう心がけており、質問を受けた際はすぐにお答えできるようにしている。	今後も保護者様からの相談に適切にたいおうできるようにしていく。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	9	0	保護者様向けの情報交換会を実施した。	今後もこのような機会を提供できるようにしていく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	10	0	職員で話し合いを行い、すぐに対応できるように心がけている。	今後も迅速かつ適切に対応できるように心がける。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	10	0	毎月保護者様向けのお便りを発行している。	お便りの発行を継続して行う。
	35	個人情報に十分注意している	10	0	個人情報の漏れがないよう、全員で注意している。	今後も個人情報の扱いには細心の注意を払っていく。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	10	0	お子様に伝わりやすい方法で伝える様に工夫している。	今後もお子様に伝わりやすい方法は何か、検討を続けていく。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5	4		
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	9	1		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	10	0	定期的に避難訓練を行っている。	今後も訓練を継続して実施していく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9	0	定期的に研修を実施している。	今後も研修を継続して実施していく。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	8	0	身体拘束についての研修や委員会を実施している。	今後も研修や委員会を定期的に実施していく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	9	0	利用開始の際にアレルギー調査を行っている。	アレルギーについては、利用開始時に必ず調査を行い、全職員に共有する。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9	0	小さなことでも作成し、どの職員でも確認できるようにしている。	今後も作成を続け、事例の積み上げを行っていく。